

まず家族が口腔管理を



【問い】子どもは何歳から歯科医院に行ったらよいですか。
(長崎市、30歳女性)

【答え】何を目的に歯科医院に行くのかによると言えます。

子どもといえば「むし歯の心配」があります。むし歯の原因になるミュータンス菌は、生まれたばかりの赤ちゃんの口には存在しません。皆さんご存じのように、歯が生え始める生後6〜10カ月ごろ身近な人から感染し、口内の環境によっては発症につながります。感染予防やブラッシングの仕方、フッ化物の応用については多くの歯科医院でアドバイスを受けることができます。

歯並びを気にして来院する患者さんも増えていきます。歯並びは遺伝もありますが、食べる機能の発達、舌の使い方や口呼吸などの影響もあることが分かってきました。幼児期から口を閉じ、鼻呼吸をし

ながら呼吸と咀嚼(そしゃく)のリズムを合わせます。その場合の舌と顎の位置を覚えることが必要だと唱える専門医もいます。

食事の時は足を中ぐらりにせず、しっかり床につけていることが二足歩行の基本になるともいわれています。歯科医は口の中ばかりを診てしまいがちですが、今後は助産師、栄養士、理学療法士、保育士らと共に子どもたちの成長を見守る必要もあるでしょう。

むし歯や歯周病など口の中の疾患が全身の健康に深く関与することが分かっていきます。その予防をさまざまな観点から早期に行うことが子どもたちの健やかな成長発育を促すといえるでしょう。

回答者
山口 香奈美
長崎市浜町
ききくら歯科医院院長



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒80521-8600、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。